

令和3年度 第1回心じのくにユニバーサルデザイン推進委員会 御意見・対応案

番号	分類	委員名	意見内容	対応	対応部局
1	心のUD	生川委員	お互いに支え合うということは、自分も相手も大切にすることであるため、県民一人ひとりが自分を大切にするという視点を計画に取り入れられると良い。 自分を大切にすることが、相手を大切にすることにつながるため、自分に誇りを持ち相手も大切にすることで、性別や障害等の有無に関係なく自然な形で多様性の受け入れにつながっていくのではないかと。	第4章1(2)②「心のUDの促進」の施策の方向性に、県民一人ひとりが自分を大切にするという視点を取り入れ、自分も相手も尊重することが、性別や障害の有無に関係なく、多様性の受け入れにつながることを記載しました。 (計画25～26ページ)	県民生活課
2	心のUD	佐瀬委員	お互いを認め合うには、まずお互いを知ることが大切であり、相手のことを知ることで、他者の視点(相手の視点)を養うことにつながっていく。他者という視点がないと、SDGsの取組も独りよがりのものになってしまうため、他者という視点を取り入れたい。	第4章1(2)②「心のUDの促進」の施策の方向性に、障害のある人や高齢者、外国人など、様々な人々の特性を知り、他者(相手)の視点をもつことで自分とは異なる立場や価値観をもつ他者への理解につながることを記載しました。 (計画25～26ページ)	県民生活課
3	SDGs	井上委員	次期計画におけるSDGsの位置づけに唐突感があり、いきなりSDGsが前面に出てきている印象がある。 SDGsの視点を入れることにより多面的に捉えられるメリットがある一方で、範囲が広すぎてUDのポイントがぼやけてしまうのではないかと懸念があり、SDGsの括りで振り分けていくと対象となる範囲が広範囲に広がり、何でも関連してしまうため、新計画策定にあたり、UDとSDGsについてどういった部分を提言していくのか整理したうえで記載すべきではないかと。	「静岡県の新ビジョン 後期アクションプラン(仮称)」では、基本理念の一つに「静岡県をSDGsのモデル県に」を掲げ、33の政策の柱ごとに関連するSDGsの目標を記載する予定です。本計画は、その分野別計画であるため、新ビジョンに合わせ、計画の14の柱ごとにSDGsの目標を記載しました。 (計画39ページ)	県民生活課
4		鳥原委員	無理にUDの取組をSDGsにラベリングしてしまうと唐突感がでてしまう。		
5	SDGs	鳥原委員	UDを広めることで、SDGsの認知につなげるという役割を持てるのではないかと。	第4章1(1)①「理念の普及」の施策の方向性に、UDとSDGsに共通する理念や取組を併せて周知することで、UDとSDGs両方への関心を高めていくことを記載しました。 (計画25ページ)	県民生活課
6	SDGs	鳥原委員	SDGsでは、2030年の目標達成を目指しており、バックキャストの視点を取り入れ、計画を通じて未来の目指す姿について触れてはどうか。 予算の関係もあるため、計画期間内はこんなことをやっていきたいという組み立てでも良いと思う。	計画の目指す姿を記載するとともに、進めていきたい施策内容を第4章推進施策の小柱ごとに施策の方向性に記載しました。 (計画1ページ(目指す姿)24～36ページ(施策の方向性))	県民生活課
7	SDGs	小濱委員長	SDGsにおける2030年の目標達成の観点から、バックキャストをすると、継続的な取組であるUDとの違いを考慮する必要がでてくるのではないかと。	2030年の目標達成の観点によるバックキャストにかわり、計画の目指す姿を記載するとともに、進めていきたい施策内容を第4章推進施策の小柱ごとに施策の方向性に記載しました。	県民生活課
8	ハート	山崎委員	講座は、身体障害の方への対応が主になっているが、発達障害等(自閉症等)の外見上ではわかりにくい特性についても講座内で触れて欲しい。	障害のある人や高齢者、外国人等へのそれぞれの特性に応じた対応方法について、企業等が必要な対象を選択して学ぶ講座において、発達障害等についても講座内容に取り入れていきます。 (計画26ページ)	県民生活課
9	ハード	竹島委員	鉄道やバスだけでなく船や空港も含めた観点で、一体的に公共交通機関の整備を進めて欲しい。	第4章3(2)②「公共交通機関等のユニバーサルデザイン」の施策の方向性に、公共交通機関の再構築による一体的な整備を目指すことを記載しました。 取組としては、バリアフリー車両の導入や鉄道駅のユニバーサルデザイン化、空港や港におけるスロープ整備等を支援・促進します。 また、公共交通機関の再構築等が含まれる集約連携型都市構造の実現に向けた取組(※)件数を指標として設定しました。 ※都市機能の誘導により居住の集約等を進める都市のコンパクト化と公共交通網の再構築等により誰もが暮らしやすいコンパクトなまちづくりを推進する取組 (計画36ページ)	港湾整備課他
10	デジタル化	竹島委員	デジタル化についていけない人や障害のある人の中には、デジタル環境の整備が自力では難しい方もいるため、デジタル環境の整備の手助けという部分もキーワードとして気に留めて欲しい。	第4章2(2)①「利用者の立場に立った行政対応」の施策の方向性に、デジタルデバインド(インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差)の解消に向けたデジタル環境の整備等の支援を記載しました (計画30～31ページ)	デジタル戦略課
11	コロナ禍	畔柳委員	計画に反映することではないが、コロナ禍がそれなりに落ち着いてきたら、フェイスtoフェイスによるコミュニケーションの大切さに配慮して学校教育においてもコロナ以前に戻せる部分は戻していただきたい。	オンライン化が進んでいく中でも、対面形式のコミュニケーションを大切にしたい教育活動へ取り組んでいきます。	県民生活課 教育政策課